

# 横浜市の訓練実施結果

訓練の目的	横浜市は総合防災訓練を通じて、災害時の状況を体験し、その体験を踏まえて実災害時にどのような行動を取るべきかを理解するとともに、市民・地域・企業・関係団体等が一体となった実動訓練を実施して、防災・減災意識の高揚や関係団体との連携強化及び地域防災力の向上を図ることを目的とする。
日時	令和 6 年 9 月 29 日 (日) 9 : 00 ~ 12 : 00
会場	長坂谷公園
規模	参加機関 (団体) 60 機関、参加人員 約 3,000 名 (観覧者含む)
想定地震	相模湾を震源とするマグニチュード 8.1、市内最大震度 7 の地震により家屋の倒壊や道路損壊、電気・ガス・水道等のライフラインに甚大な被害が発生、負傷者多数との想定で実施
訓練項目	<p>【防災イベント】</p> <p>横浜市消防音楽隊によるドリル演奏</p> <p>【実動訓練】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>シェイクアウト訓練 地震発生時の行動</li><li>避難、救護訓練 (住民) 避難、安否確認、応急手当</li><li>初期消火訓練 消火器やスタンドパイプ式初期消火器具を使用した初期消火</li><li>情報収集訓練、緊急交通路確保訓練 ドローンや白バイによる情報収集、警察による交通規制</li><li>道路啓開訓練 防災関係団体による道路上の障害物の除去</li><li>ライフライン復旧訓練 電気・ガス・上下水道の復旧</li><li>救援物資輸送訓練 救援物資の受け入れ、搬送、避難所使用燃料の受け取り</li><li>情報収集伝達訓練 消防・自衛隊の二輪車や災害救助犬による被災情報の収集、情報受伝達</li><li>救出・救助訓練 倒壊家屋からの救出・救助</li><li>医療救護訓練 医療関係従事者による災害医療処置</li><li>火災防衛訓練 消防団、消防隊による余震により発生した建物火災への放水</li></ol>

	<p><b>【展示体験エリア】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 VR体験 VRによる火災体験</li> <li>2 模擬被災家屋の展示</li> <li>3 地震体験等 起震車による地震体験</li> <li>4 煙体験 火災発生時の避難要領</li> <li>5 防災関係機関による展示、体験、防災啓発</li> <li>6 防災関係機関による車両展示</li> </ol>
<p>訓練の特徴</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民参加・体験型の訓練 実動訓練では、地域住民が参加して、避難、安否確認や応急手当、初期消火訓練を実施した。 また、展示体験エリアでは、「見て・触れて・体験する」を目的に各種ブースを設置して、市民の防災・減災意識の高揚に努めた。能登半島地震を受けて体験型コンテンツを拡充し、模擬倒壊家屋の展示やVR体験エリアを展開した。車両展示においては、緊急自動車など、災害時に運用される車両を来場者に身近に感じてもらうことにより、防災力をアピールすることができた。</li> <li>2 防災関係団体等による連携訓練の実施 実災害を想定した訓練を通じ、行政機関をはじめ、協定を締結している各機関が対応時の連携・効果的な引継ぎを確認することで、更なる災害対処能力の向上を図ることができた。救出・救護訓練においては、総合的な災害現場対応における新たな試みとして、救助活動と並行して救護活動を実施するなど医療連携の向上を図ることができた。 また、大型ビジョンカーを配置し、ドローンからの映像をリアルタイムに投影することにより、臨場感ある映像を来場者に提供できた。</li> <li>3 熱中症対策 熱中症対策については、訓練関係者や来場者の安全確保を最優先とし、具体的な対応として、アナウンスによる注意喚起を実施するとともに、訓練会場の複数箇所において、水缶・塩分タブレットの提供や瞬間冷却材を配布した。</li> </ol>
<p>参加機関</p>	<p><b>【地域住民】</b> 緑区連合自治会 横浜市緑消防団</p> <p><b>【国の機関】</b> 陸上自衛隊第31普通科連隊 国土交通省国土地理院関東地方測量部</p> <p><b>【県の機関】</b> 神奈川県警察本部、緑警察署</p>

**【指定公共機関】**

株式会社NTT東日本神奈川事業部  
株式会社ドコモCS神奈川支店  
日本赤十字社神奈川県支部  
ソフトバンク株式会社  
KDDI株式会社南関東総支社  
日本通運(株)横浜支店  
東京電力パワーグリッド株式会社神奈川総支社  
東京電力パワーグリッド株式会社鶴見支社  
東京ガスネットワーク株式会社神奈川支社導管事業部  
東京ガス株式会社神奈川支社  
一般社団法人神奈川県トラック協会  
公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会  
横浜市障害者社会参加推進センター

**【協定機関】**

一般社団法人横浜建設業協会  
一般社団法人神奈川県建設業協会横浜支部  
一般社団法人AZ-COM丸和・支援ネットワーク  
一般社団法人神奈川県ドローン協会  
特定非営利活動法人救助犬訓練士協会  
特定非営利活動法人神奈川救助犬ネットワーク  
特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク  
公益財団法人横浜市国際交流協会  
横浜市アマチュア無線非常通信協力会  
横浜市管工事協同組合  
横浜市下水道管理協同組合  
神奈川建設重機協同組合  
赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部  
三和エナジー株式会社  
損害保険ジャパン株式会社横浜支店  
株式会社ハミングバード

**【医療機関】**

一般社団法人横浜市医師会・緑区医師会  
一般社団法人横浜市歯科医師会・緑区歯科医師会  
一般社団法人横浜市薬剤師会・緑区薬剤師会

**【民間企業・団体等】**

緑とコミュニティグループ  
横浜創英大学

**【横浜市】**

危機管理室、緑区役所、緑土木事務所、消防局、緑消防署  
横浜市民防災センター、医療局、下水道河川局、資源循環局  
道路局、水道局

**【九都県市広域応援協定自治体】**

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市